

# 令和3年度熊本県商店街実態調査（基礎調査）結果

## 1 商店街実態調査について

### (1) 調査目的及び調査内容

商店街振興施策を進めるうえでの必要な基礎的情報として、県内商店街の実態及び経年変化を把握する目的で実施している。

毎年、3月末日現在の県内商店街の店舗数等の基礎的な数値を調査(基礎調査)するとともに、3年に1度、基礎調査に加え、より詳細な実態を調査(実態調査)する。

今年度は、令和2年7月豪雨災害及び新型コロナの影響で未実施となっている令和2年度分と併せて調査することとした。

### (2) 調査対象

15店舗以上の店主等で構成される商店街振興組合、繁栄会等の団体、また、組織体制はないが近接する15店舗以上で形成されている街区。

### (3) 調査基準日

各年度とも、前年度末(3月31日)を基準日とする

### (4) 調査方法

所管する商店街について市町村へ調査を依頼し、県において集計した。(熊本市は独自に調査をしているため、今回は調査未実施)

### (5) 回収率

100%(調査対象:85商店街)

### (6) 集計対象

76商店街(調査対象の85商店街のうち、今回の調査で15店舗以下となったこと、組織が解散・休会していたことが判明した9商店街を除いたもの)

## 2 調査結果

空き店舗率については、今回調査した熊本市以外の市町村データと熊本市が独自に調査した空き店舗のデータを参考値として集計した。

### 令和2年度

#### ◇空き店舗率

9.7%

(対前年度比-0.9ポイント)

#### ◇開業率(熊本市以外)

1.8%

(対前年度比+0.3ポイント)

#### ◇廃業率(熊本市以外)

2.2%

(対前年度比-0.5ポイント)

### 令和3年度

#### ◇空き店舗率

9.6%

(対前年度比-0.9ポイント)

#### ◇開業率(熊本市以外)

1.8%

(対前年度比±0ポイント)

#### ◇廃業率(熊本市以外)

3.7%

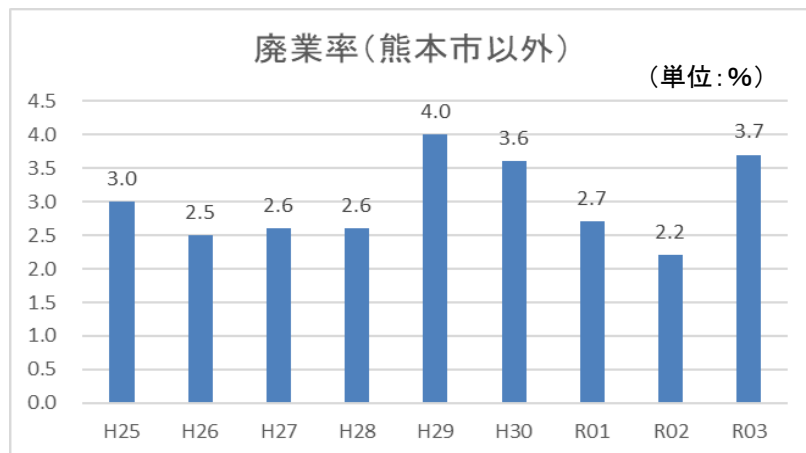
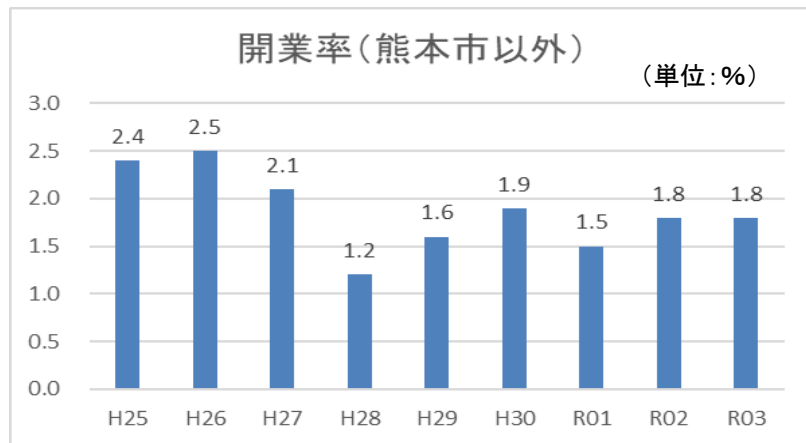
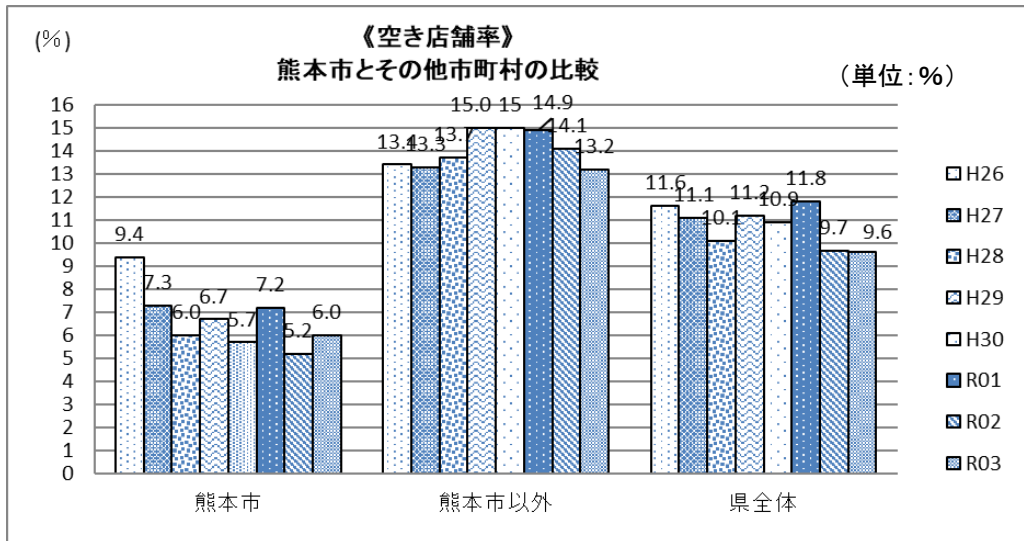
(対前年度比+1.5ポイント)

※熊本市の調査対象は、商店街の主要通り沿いに面している1階部分の店舗のみであり、県は商店街を構成するすべての店舗を対象としている。

◇ 空き店舗率：空き店舗数／総店舗数×100

◇ 開業率：出店数／店舗数×100

◇ 廃業率：閉店数／(店舗数-出店数+閉店数)×100



- ・ 調査対象である15店舗以上で構成されている商店街が、前回の調査時から3つ減少している。
- ・ 解散・休会した商店街は6つあり、前回の調査時の商店街数から約7%減少している。
- ・ 開業率は横ばいであるが、令和3年度の廃業率が1.5ポイント上昇している。
- ・ 空き店舗率は低下しているものの、商店街を構成する組合員数が減少傾向にあり、地域の商店街が厳しい状況にあることがうかがえる結果となった。